

文書番号: JHL 発 23-09 第 24 号

2023年9月27日

株式会社 TeToTe 代表取締役 宮崎 寛 様 (申請チーム名:堺 Liaison OSAKA)

> 一般社団法人日本ハンドボールリーグ 代表理事 中村 和哉 (公 印 省 略)

2024-25 シーズン 新規加盟チーム審査結果通知

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より日本ハンドボールリーグの事業運営にご理解ご協力賜り厚く 御礼申し上げます。

この度は、「2024-25 シーズン新規加盟チーム審査」にお申込みいただきましてありがとうございました。

貴法人から提出いただきました書類及びヒアリングをおこない、新規加盟要件に照らし合わせて審査をし、当法人理事会の 審議の結果について、下記のとおりお知らせさせていただきます。

敬具

記

審査結果	2024-25 シーズン 新規加盟を見送る (不承認)
理由	審査要件「4.財務要件」
	以下の理由により、財務条件は満たしていることが判断できませんでした。
	・ 提出時点の決算書及び付属明細書に基づき、財務基盤が整っていると判断ができませんでした。
	・ 履歴全部事項証明から、株主訴訟が判明し第三者割当増資に関する手続き瑕疵により、その
	実施が無効となる判決が下されていることを確認いたしました。
	これにより、資金拠出いただいた株主の皆様への資金返還手続きに鑑みると、現状の財務状態が
	らは継続的なリーグ運営ができる資金の確保が審査時点で確認できませんでした。
	・ 2ヶ年の事業計画と貸借対照表、スポンサー契約の状況からも、財政状態の健全性を担保する
	- ことが確認できませんでした。
	審査要件「7.契約及び資格要件」
	以下の理由により、契約及び資格要件等を満たしていることが判断できませんでした。
	・ 誓約書により、2024年9月末時点において統一契約書(プロ契約)にて11名以上の契約
	については誓約いただいておりますが、申請時点において登録選手が確認できず、活動実態も確
	認できなかったことから、本要件の蓋然性を担保するエビデンスが確認できませんでした。
	・・・セレクションにより選手の獲得に努めている旨の説明がありましたが、申請時点において協会登録
	が未完了のため、誓約書の達成を補完するに足るエビデンスが確認できませんでした。

2024-25 シーズン新規加盟チーム審査結果について

結果報告が一般社団法人日本ハンドボールリーグから9月27日に発表されました(2024-25シーズン新規加盟見送り)

皆様のお力添えを頂き、監督に玉村健次氏を迎え、アドバイザーの酒巻清治氏と共に、

2024 年日本リーグ参入を目標に準備して参りました。

しかし、日本リーグ参入には至りませんでした。

理由としては、

財務条件、契約及び資格要件を満たすことができない為見送りとなったと発表がありました。

財務条件については、前 GM が、社内での手続きを踏まなかった資金調達行動が要因のひとつとして挙げられています。社長、GM、新たな取締役で健全化を行いましたが、理解して頂く事はできませんでした。

契約及び資格要件につきましても、

2023 年時点において選手を獲得し、TeToTe(現堺 LIAISON OSAKA)として、2024 年の参入に向けて大会・練習における活動資金の提供も行い活動して参りました。

しかし、2023 年 3 月に全選手自己都合により TeToTe を退団したため、日本協会登録選手はゼロとなりました。その後、新たに監督やコーチも決まり、トライアウトや大学視察を重ね、LIAISON の一員として戦ってくれる仲間たちを着実に集めており一定数の選手を獲得いたしましたが、申請時に登録未完了という観点から蓋然性がないとの判断となったようです。

協会登録が必須であることが明記されていなかったため、困惑しております。

しかし、2025年に向け、再度チャレンジしたいと思います。

2024 年は、選手も増やし、プライベート大会に参加し、実績を残していきたいと考えています。 一歩一歩、地に足をつけて歩んで参ります。

末筆ではございますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。 略儀ながら書中を持ちまして御礼申し上げます。

敬具

株式会社 TeToTe 堺 LIAISON OSAKA 社長 宮﨑寛 監督 玉村健次 GM 神並健次郎